

東北地方太平洋沖地震 災害調査報告会（第一回）

主催：公益社団法人 地盤工学会

平成 23 年 3 月 11 日に三陸沖を震源に M9.0 という国内観測史上最大規模の東北地方太平洋沖地震が発生し、広範囲で甚大な被害を受けました。

この災害により、お亡くなりになられた方々に心から哀悼の意を表しますとともに被災に遭われ不自由な避難生活をされている皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

さて地盤工学会では、今回の地震・津波災害に対して、地盤工学会全国各支部と東北支部との連携により第一次調査団を構成して、調査にあたっております。災害調査報告会を以下のとおり開催いたします。

日 時：平成 23 年 4 月 11 日（月） 13:00～17:00

場 所：地盤工学会大会議室、3F 会議室、各地区サテライト会場（Ustream でインターネット配信）

プログラム

1. 13:00～13:05 開会挨拶

日下部治（地盤工学会会長）

2. 13:05～13:20 地盤工学会調査方針と概要

村上 章（地盤工学会副会長・調査団長）

3. 13:20～16:30 調査報告（司会 菊池喜昭 地盤工学会関東支部幹事長・調査団副団長）

1) 13:20～13:40 「東北北部における複合地盤災害の状況」

ハザリカ ヘマンタ（九州大学）

2) 13:40～14:00 「岩手県沿岸中南部（陸前高田市・大船渡市等）における地震動・

津波などによる土構造物の被害や港湾被害，家屋の被害，斜面崩壊」

原 忠（高知大学）

3) 14:00～14:20 「宮城県北部の河川・港湾施設の被害状況」

飛田哲男（京都大学）

4) 14:20～14:40 「宮城県北部の鉄道・道路の被害状況」

吉田信之（神戸大学）

5) 14:40～15:00 「関東の液状化被害」

安田 進（東京電機大学）

（裏面に続く）

- 6) 15:00 ~ 15:20 「宮城県内陸部の被害」
古関潤一（東京大学）・若井明彦（群馬大学）
- 7) 15:20 ~ 15:40 「宮城県中部の被害」
規矩大義（関東学院大学）
- 8) 15:40 ~ 16:00 「宮城県南部・福島県北部の港湾・空港・道路・造成宅地の被害」
野田利弘・山田正太郎（名古屋大学）
- 9) 16:00 ~ 16:20 「福島県内陸部の地震被害」
中村 晋（日本大学）
- 10) 16:20 ~ 16:40 「北海道太平洋岸域の被災状況」
川村志麻（室蘭工業大学）
4. 16:40 ~ 16:55 質疑応答
5. 16:55 ~ 17:00 閉会挨拶
菊池喜昭（地盤工学会調査団副団長）